

## 脱ステロイド試みて重症化

43 歳 男性      入院期間      2013/4/24～2014/7/20

幼児期、軽度のアトピー性皮膚炎が生じていた。学童期は四肢屈曲部にでていたが自然消退。

10年前、結婚後からアトピー性皮膚炎が生じるようになり近医にてステロイド外用を使用していた。しかし次第に悪化傾向にあった。

2013.1月からステロイド外用を使用してもコントロールできず全身性に悪化、注射剤も投与されたが短期の効果しか得れなかった。

ステロイド治療に不安を感じ3月下旬に脱ステロイドを行ったが皮膚炎は一層悪化 インターネットで当院を知り受診入院治療となった。

BSC を中心とした入院治療の効果は明確で TARC は1ヶ月で 1/3    3か月で 1/46 に低下 全てのマーカー 自覚症の POEM で改善を見た。

当然ステロイド・プロトピックは使用してない。2014.4 の段階では手の甲のみに皮膚炎が軽度にあるだけで自宅 BSC でコントロール良好です。

	基準値範囲	2013/4/22	2013/5/25	2013/6/24	2013/7/12	2013/10/12
TARC	450 以下	62161	22462↓	4969 ↓	1350↓	750↓
LDH	120～245	400	356↓	282↓	234↓	233
IgE	170 以下	14854	16396↓	15519↓	13302↓	6944
好酸球	7%以下	17.8	13.2↓	9.6↓	5.4↓	7.0
POEM(自覚症)	最重症 20～28	28	19↓	11↓	9↓	2↓

2013/4/24



2013/5/24



2013/7/24

